

## 女子大改革に関する意見

・社会科学系学部の新設で人口定着効果があるとは思えない。本当に必要なのか、十分議論していただきたい。

・高知城東（追手前高～土佐女子・丸の内等）を市、又県の文教地区として充実整備して欲しい。・一時の赤字補填のためにマンション建設などもってのほか。

・「美しいまちづくり」の中味を考え直すべき（高層建設の問題）

・男女共学化へ向かうべきと考える。

・池への統合、社会科学系学部の新設は反対ではないが、県の財政状況を考えた場合、当面大型投資は慎重にすべきと考える。

・絶対に女子大の池への統合及び造成等やるべきでない。これからは少子化という事や県外からの入学も多く、地元への定着は考えられず人口増加等につながらない。はじめから県外建設業者をひっぱり、ピンハネありきの知事のやり方及びそれにこびへつらう県幹部の人間もゆるせない。

・高知市のためにも若い人が市の中心にいる事は良いと思うので、出来るだけ女子大の大部分は残してもらいたい。

・共学にする方がよいと思います。

・この財政難にそんな無駄な税金の使い方をすべきではない。かるぽーとの二の舞。費用対効果も望めない事業に無駄使いするような時代ではない。

・工科大の就職先についてですが、本人が県内就職を希望しても先生が県外大手企業をすすめているそうです。本人が本当に希望して企業を見つけても、先生が説得等の面接をして県外企業を勧めているそうです。もちろん、工科大就職先の実績作りのためです。ある学部はほぼ100%県外だと、現役生に聞きました。卒業する若者がほとんど県外へ出て行っているようです。大学卒業までは高知に居てくれるから O.K. というものか？工科大の役目等、必要か？大学の体質は？先生はどう考えますか？

・県立大学の必要性を検討し、不要な学部の廃止をして欲しい。レベルが低いし、教授の数も少ない。

・効率は悪いが分散型のキャンパスにして、民間の施設も利用してはどうか。県民から基金を受けて収益向上をめざす。

・学生の立場で考えるべき。永国寺キャンパスを残すのは今日の傾向。結果として中心部の賑わいにつながる。学生はバイトも必要。高知市長も永国寺キャンパスを残すことに最大の努力をすべき。高知大学誘致は後のこと。ちぐはぐ。・どの部も、現有の施設を大事に使用していくことが大切。耐震性能向上と修理等をしていくこと。大規模な工事は控える（新規に作ること）ように。

・男子学生の大多数が県外大学へ進学し、親の負担や県全体の経済的損失は大きいと思われる。男女共学制など県立大学の充実を希望します。

・逼迫する財政、いやおう無しにやってくる高齢化社会、先の社会情勢を十二分に鑑み、施設や設備は国民県民の身の丈に合ったものを、方法を、学生の教育面での充実をはかり真摯に社会生活に対峙できる人間の陶冶に務めること。

・①看護学部の必要は認めるが、私学と競合する事は無い。②地方の景気が悪い時。なぜ今、必要なかと思う。③老人や弱者の生活の安定を優先してもらいたい。④雇用の確保も大事だが食う事、生きる事が先ではないか。⑤大学造って卒業生を県外に出して、或いは県外生を入学させて県外に就職させる余裕は無いはずだと思う。

・街づくりの一つとして、高知大学の一部を追手前小跡地へ移転してはといわれている今、県は女子大を池へ転出（計画がなされていたとしても）するのは街づくりをするうえで、一貫性に欠ける。①を協力に進めてほしい。そもそも大学はレジャーランド的要素が必要である（本来の目的からすれば、おかしいが。）そういう意味では工科大は学生集め要件を欠いている。山本本副知事の失策である。県は土地利用計画が極めて粗雑。そこに土地があるから箱物を作ってきた。例えば、美術館、福祉交流プラザ等枚挙にいとまがない。

・県内の学生がどれだけいるかをよく検討することと、大学は市街地にこだわらず、大きく自然のキャンパスの中で勉学にいそむこと。

・今の県に 100 億円の借金はしないこと（頑張ってください）

・我が家は二人大学生がおります。今年三番目も受検します。上は横浜国立、2番目は高知大、大学生のエネルギーはすごいものを感じます。県内学生はもちろんですが、県外学生の取り込みも考えた大学を望みます。大学に行かすのはお金がかかります。子どもの少ない高知を大学で何とかして欲しいです。

・高知では以前から薬学部を新設できないでいる。たぶん薬剤師会あたりのものすごい反対なのでしょうが、県外に進学させないで、資格が取れることは良いと思いますがねえ。

・財政難なので既存の施設を使用して大学運営をして欲しい。工科大学の失敗を繰り返さないで欲しい。永国寺キャンパスは残して欲しい。

・人口が毎年毎年少なくなっているのに女子大はいらぬ。私立にまかせれば良いと思う。男女共学で十分、頭が古くさい時代について行くように 100 億余円を何に使うのか子どもや老人のために。障害者のために使うようにお願いします。

・社会科学部は夜間部であるので、通学に便利でないと困る。

・現在の県財政では相当無理で、高知大もあり、女子大にそれほどの大金をかける必要があるのか。県民の生活に大変な重みになるのでは。

・厳しい現状の中、中心地に若者がいなくなるとなると、活気が薄れてくるのではないのでしょうか。例えば金沢市のように郊外に学校、県庁等移していますが、街中心に若い人がいなくなっているようです（全国に多数例はあると思います）。政治に道はずせば孫の代まで響いていきます。今何をすべきか、活気のある街づくりと思います。

・女子大の看護学部は全国的に優秀な学生を集め、全国的にこの方面に大きく貢献している（このことは知事や議員さんの認識は薄い。看護学部は市内に残すべきである。工科大学は高知県の財政を圧迫し、縮小すべきである。橋本知事の失政である。

・財政状況の厳しい昨今、100 億円もの女子大への出資は間違っていると思います。高齢者人口の多い本県においては老健施設などもっとほ

かのお金の使い方を考えていくべきだと思います。工科大に社会科学系学部の新設のことはよく考慮すべきだろう。

・法改正をし、高知大学、県立大学、工科大学を統合し、高知に大学を残して欲しい。

・⑤は当面の問題として実施。看護のみならず、介護福祉の実態を明らかにし、充実を期すべきである。問題は低賃金の実態。

・学生は基本的に少なくなるのだから、根本的に考えないといけない。簡単に税金を使わないよう。

・橋本知事は自分の思い入れで工科大には肩入れ？しているのでは。その証左の一つが女子大、短大への卒業式や入学式にはほとんど出ていないこと。工科大には率先して出ている。教育の機会を地元でつくり守ることは県経済を守ることにもつながる。

・高知大学以外 2 校はともに県立大学であることに（現実を）多くの方が知ることの大事さ。工科大学の県負担をもっと明らかにして下さい。今後永国寺町の永久維持は必要である。

・学部の講義内容に対して他大学生も時々聴講可能なシステムもあっては如何でせう。

・財政難、少子化等について将来的には 3 大学とも存続の危機にあり、女子大－工科大学あるいは国立を含めての統合は不可能でしょうか。

・県内の進学状況（県内組）をみれば県内進学率を高め、高知県民のための大学になれば。

・学舎建設することを考えるより。現在使っていない土佐女子短大の学舎を借り受けて、景気が良くなってから建設（買い上げることができたら買い上げ）するとか、今ある使っていない施設を安く使わせていただければ如何ですか？

・女子大をなぜ池にか、理解に苦しむ。県庁も赤字なのに企業なら中止にします。

・財源不足なのに何を考えているのかわからない。土佐荘跡地は史跡化に。マンション建設は中止すべき。こういう場所は先に県が買い上げるべき（遺跡がでなくても）。先に買えば安くつくのになぜ。

・⑤で将来的には新築拡充整備すべき。県出身高校 50 % 入学確保が県の文化的・福祉・医療の向上につながりはしないか。

・教育施設の整備も大切ですが、県内の若者の

就労についてのあり方も同時に考慮して欲しいです。

・朝倉地区は高知大の学生の住宅等で収入を生活費としている高齢者が多くおります。今学生が消えることは本当に困ってしまいますので考へて下さい。中央から学生を締め出して帯屋町をもっとさびれさすのでしょうか。

・100 億円に上る費用を今後どのように返済させていくつもりでしょうか。知事の退職金を支払う必要はない。世界で一番の貧乏県にしておきながら。

・県内大学教育のあり方を定めることは、県外の入学希望者にとっても魅力あるモノでなくてはなりません。県民合意は県民のみの合意にとどまることなく、広い視野からの大学の再構築を図るべきと思います。

・⑤の今回の女子大の移転は新聞等を読んでも理解しがたい中で、100 億円の事業費は決して少なくないと思う。看護学部の対応、耐震改修はその中でもとりあえず早急な対応必要と考える。

・永国寺キャンパスを残し、共学も考え拡充。高知大学の追手前小学校の跡地への進出は必要ないと思います。

・今のやり方は自民党（与党）そのもの。説明責任を果たさず、信頼できるものではありません。これが今の高知県で最重要なことか非常に疑問です。新規事業一つにしても費用対効果を厳正に審査する一方でこのやりかたには憤りを感じています。議会は今一度チェックを厳しくお願いします。そして県民の心を豊かにして下さい。

・永国寺町へ統合する案は？永国寺町校舎地の利用計画が未定ならば池地区へさらに 100 億円を投じるのなら現永国寺町を更地にして 10 階建ての全学部収用できる校舎ホールなどを新築して市の中心部での利便性や地域住民との協調、さらには短大存続もできるのではないですか。

・キャンパスが二カ所になると事務などの運営費がかさむので一カ所がいいと思うが、100 億余円の事業費は高すぎると思います。

・市民病院を中央から遠ざけて病人家族を案の定困らせているのに、また同じ人を困らせる方

向に大学の移転を考えるのですか。学生も働き、アルバイトもしつつ青春を力強く生きさせるためにも高知の中心に置き、利用しやすいようにしてあげて下さい。

・女子大だけの問題でなく、目先のことにだまされず永国寺土地売却や追手前小学校に高知大移転など全体で考えて欲しい。永国寺は守ること。

・長年高知県の社会人教育に貢献してきた夜間の高知短大の廃止が既定の事実のように取り扱われていくことに憤りさえ感じます。同短大の存続を望みます。

・社会科学系学部を新設するくらいなら高知短大を残すべき。短大は今までも県内の人に役立ち活躍している人も多いし、今後も勉強できる場であって欲しい。女子大も永国寺町にあるべき。財政難の今は 100 億円投入反対。

・財政悪化の時、あまり新規事業まで拡大する必要は感じない。

・耐震急ぐことなし。女子大に巨費が必要なら工科大は中止すべきであった。

・器より中身。学生が今の設備環境に（場所、建物等学校としての体をなすもの）適応していれば先行の必要はないのでは。学生の意見、教師の意見を重視せよ。

・女子大は先を見て統合すればよい。高知県は全国一の財政苦で県民は泣いておる。総事業費 100 億あまり出し、女子大が必要なのか、ほかに理財になる道を選ばないのか。女子大が必要であれば改修して現在の施設を使う。統合移転は県民は反対である。高知県が豊になれば考えたらどうか。8月号週刊新潮に橋本知事写真入りで世界一貧乏県で記されのっていた。県民としてはづかしいことである。

・女子大は女子のみの偏りをなくし、男女ともに学べる場として欲しい。

・女子大移転問題のみ採り上げられ、短大の廃止は決まったように受け取られる。学びたいと思った時に学べる夜間大学の存続をお願いしたい。

・県財政の厳しい折、100 億円に上る県のお金を使ってまで池に大学を移転する必要性があるのか。高知県はいろんな面で大変な県でもあるわけで、県民の一人としては反対。県民の合意

を図るべきだと思う。

・看護学部については高知大、学短、公私立高校、専門学校等を含めて検討すべきで、女子大の看護学部を特別扱いをする必要はない。法学部をつくって本県に益があるかどうか不明。

・戦後にある教育者が「これからの日本は女子教育が大切だ。女子教育を大切に人間を育てなければ日本は滅ぶ」といわれました。今の女子大でよいとはもうしません、何とか一校は女子教育に重きを置いて「将来の人間を育てる」良き人材を育てるような教育をしてもらいたい。全部男女共学でなく、交流をしながら人間として成長する教育をと願います。永国寺町の土地で有効な大学に。

・道路の整備。知事は高知県のためを考える人。高知県の土木業者を大切に。

・財政指標が悪化する前に中止。産業振興に投資すべき。

・自分の時も子どもにもいきたい大学ではない。女子大改革というより教育に関する親の負担を見直して欲しい。経済的な理由で学べない子どもがないように。

・児童数減にともなって人口（学生の）が減っていくこれから先、やたらと学部を新設せず、内容を充実していくことが大切だと思う。財政難の今をしっかり把握して、整備を進める程度でよい。もっと県民にも開かれた学内を希望します。女子大は特別な雰囲気を感じられる。

・中心部から女子大の移転、中心部への高知大の移転は整合性がないように思う。現時点で100億円の投資は疑問。

・そもそも工科大学設置が間違いのもと。既存の大学充実を第一とすべきであった。今100億円余の事業費を出す余裕は高知県にはない。

・高知には是非企業を誘致し、一人でも多く税金や年金を支払える体制を整えて欲しい。県議は一致団結して自分の懐をぬくめる活動からそろそろ県民に目を向けたらどうか。

・当面は財政負担に耐えられる範囲に止め、県内大学教育について県民合意を得られるビジョン作成が先。

・高知には人材の受け皿がない。経済の活性化を早急にするべきではないか。人材を育てても現状では県外に流出せざるを得ない。経済活性

をアイデアETC周囲には見えてこない。身近に感じられない。

・極めて厳しい財政状況から100億円もの事業費をとまう女子大再編は無理。優先順位が違う！

・女子大学も工科大学も本当に県民に還元しているのでしょうか。本当の人材（高知県にとって）はどうあるべきか、単に人数の確保ではないと思います。高知県にとって人数の確保にもなっていない気がします。

・高知市の中心市街地活性化の関連で追手前小学校の統廃合が取りざたされ、高知大の一部施設の移転構想が浮上している。これらもあわせ、高知市とも協議し、検討すべきである。永国寺キャンパスは最高の文教地域である。

・社会科学系学部の新設は再検討。工科大学は早くも定員割れ、高知大学は追手前。女子大は池、こんなことでは共倒れ。3大学が連携して共存共栄の道を考えることが大事ではないか。

・財政赤字を生じさせないため必要最小限の支出で我慢の政治をすることだと考える。

・高知県の今後の財政を考慮しながらつまみ上げするような問題提起することなく、⑥の考え方が大切だと思います。今後の確かな教育のあり方と考え合わせ、高知県の発展を願っております。

・県都高知市の中心市街地が衰退しているのだから、県としてもその辺を考えて方向性を出すべきではないんですか。

・県立大学は県財政によって存在が危うくなる時代もあった。県立大学がもっと話し合い、駅前複合ビル構想のようなものが再度でないように。

・社会科学部は短大にあります。短大に学びたい学生は年齢を問わず高需要があります。四年生に行きたければ編入の道もあります。登校拒否やメンタル面で登校できなくなった人のために短大は受け皿として絶対必要です。

・医師、看護師不足は高齢化人口の多い高知県では必要であるが、地方交付税等の少なくなった県財政を考えると県立看護学校を引き続き利用すればよいと思います。高知県出身者の優先入学が望ましい。今の女子大学は県外の生徒が多すぎる。その他県都の中心で市だけの問題で

はない追手前小学校の利活用について、全面無料駐車場とし、中心街の活性化を図り、雇用を増やし、経済の活性化を図って欲しい。

・中心市街地の空洞化を促進するような移転は反対です。

少子化により日本の人口は 2100 年には半減するであろうといわれています。このことも踏まえて考えて下さるようお願いいたします。

・学生の減は全国的な問題であり、範囲を広く調査すべきである。100 億円あれば教育のみでなく、広範囲の産業との調和が必要。

・国、県、工科大の三大学の統合が急務。

・国立大との統合も含めて考えるべき課題と思われる。

・どのようにしたら良いかは分かりませんが、多額の費用を要する県の提案には現時点では問題がある。

・県、市民病院が医療センターとして池へ移転して、県民、市民には不便このうえありません。女子大までが統合されると大橋通りや帯屋町もますます寂れる？ように感じます。女子大の開放授業等受けています、学生も池への移転は望んでいません。

・これまで街の中心部から郊外に移転した大学は伝統を失うか、魅力を失うかの道を辿っているように思われます。財政難の折から移転ではなく現在地での対応が良いのではと愚考します。

・教育の重要性は肯定するが少子化が進む中、負債を後者に残すべきでない。

・何の為に移転するのですか。そもそも移転は必要ないのではないですか。100 億円はいらないのではないですか。100 億円あれば高知県もやることはいっぱいあるのではないですか。

・少子化の時代、大改革して大金を使ってもそれだけで高知は良くなるのか？責任はだれが取るのか？学生は集められるか？就職先は大丈夫でしょうか？

1. 当初の池への移転全体計画はどうなっていたか。

2. 高知駅前の再開発による一部女子大移転はなにか。

3. 県議会が当初池への移転を認めた移転内容と総事業費は。

・県財政の実情は実質夕張市と比較しても、よく類似しておりその方向に突進しているのが実情です。

箱物は如何に教育の重要性を考慮しても県では新設を控えるべきです。

借金の返済はおろか、予算も組めない実状ではすまされません。

・今は歳出を抑えるべき。県とは何かの役割分担が不透明な時代に大がかりなことをやっても危険が多い。議員はもっと報酬をもらってもっと調査や条例提案等の政策に生かして欲しい。

・追手前小・市教委・高知大学（学生には必要な場所）・工科大がせめて土佐山田駅前にあれば。永国寺やキャンパスは中高層建築（または改修）にして残さなければ、学生減は目に見えている…と思う。

・少子化に伴い今後大学の存続は益々困難になる。安易に新設・拡充は考えるべきではない。看護学部でも例外ではない（大学は国で、県は廃止も）

・教育環境の改善、拡充に異論はない。しかし環境整備に投じるあまりにも巨額な債務が今後の県政への重荷になるのではないかと危惧する。余裕の財政ではなく、借金をしなければならぬ事業は社会資本の還元と言えない。幸い、池地区は開発途上前の地区でもあることから、池地区をエコタウン化する環境整備事業地区とした町づくりができれば、そこから資金も生まれてくるのではないかと考える。

・少子化により各大学の志願者減が想定される現在、女子大の永国寺キャンパスは、経費を多く必要とする理系は、高知大、工科大にまかせ、社会科学系を含む人文系で再編成すべき。既存学部の池の移転は大幅な志願者減が想像される。男女共学の実現。

・現在の短大の卒業生として、その伝統と実績を高く評価し、存続を強く期待したい。社会科学学部現状で残すべきである。

・同じ金額を使うのなら、まず小学校校舎の耐震改修、アスベスト除去にまわしてほしいと思います。

・近い将来起こる南海大地震の被害を最小限にすべく、可能な限り（インフラ面の経済的、時間的制約の元）の公的準備をしていただきたい

です。先日アメリカで橋が崩壊しましたが、(新しい物を作るより) 改修にも力を注いでください。

- ・定員割れが懸念される工科大に社会科学系を充実させて、県内大学教育を図るべき。大学の名称は工科大でなくてもよい。

- ・財政弱体の本県に工科大学をエゴで作った橋本大二郎が知事をやめるので、この遺物をいかに処理するか、県立大学と併せ県民が納得する大学教育を早急に構築すること。

- ・本県の公民経済力から、県立大学を持つこと自体基本的に無理がある。工科大にしても高知大学に工科系学部を置くことに県としても精力を注ぐべきではなかったかと思う。女子大は学部の新設より既存学部の見直しを図り、男女共学をすすめるべきと思う。

- ・短大は永国寺で今のままで残す必要あり。工科大学の必要性を感じない(高知大学に併設)

- ・工科大は県立大と統合。女子大改革の方向をいつまでも放置することはできないので、社会科学系(経営学部…法学系は就職面で無理)をふくめて実行し、永国寺町の跡地活用もはかるべきである。ただし、事業費は半減とし、看護学部も拡充しない。

- ・今こそ「米100俵」のように教育に資財を投入し、少子化人口の流出を止めよう!!

- ・学部が高知県にとって、どのような内容が最も必要であるかによって設置されなければならないと思う。

- ・女子のみの大学を県立として存続する意味は、多大な予算を投入してまで必要でしょうか。現在の在学生による県内、県外の出身者割合はどうでしょう。疑問を感じますね。

- ・池において100億も使う必要なし。

- ・借金ばかりする必要なし。

- ・工科大は廃止すべき。県外の大学で頑張っている学生に補助すべき。

- ・⑥は将来的には考えなければならないが、金のない今は①④⑤で対応すべきであると考えます。

- ・男女共学の時代ではないですか?

- ・県財政の厳しい折、これらの投資は何を考えているのか。橋本県政がやってきたことをもう一度見直す時期にきている。

- ・④については、永国寺町につくり、夜間も残すべきである。

- ・毎年2月3月4月の大学合格者を見て感じることは、なんと県内の学生の合格者の少ないこと…。他県の学生のため沢山の県費の支出に疑問を感じます。

- ・厳しい財政の中、女子大の移転再編統合は反対です。県立大学を残してください。永国寺キャンパスを耐震改修、拡充整備で。

- ・県立大学(女子大ではなく)とし、社会系学部の中にコース制、その中に公務員コースを入れたらと思います。

- ・老人県になったので医療完備の病院を増やしてください。大学も医科大学を増設してください。

- ・100億余円を、少子化や雇用問題に使ってもらいたい。児童手当が1万円になったが、もっと多くして、こどもを産み育てやすいという高知のイメージにしていくべきだと思う。

- ・貧乏県がムダな金を使わないでください。

- ・財政が危機に瀕している折だからこそ、女子大の存続意義も含め、その必要性を再度見直すべきではないか。窮境に在る底辺庶民の感覚から遊離した論議。

- ・永国寺の現施設の活用(耐震改修)、文化学部・法学部は永国寺で。永国寺の建物に入らなければ、法学部の定員減少。健康栄養学部は池キャンパス西側空き地で。

- ・何故、移転をするのか、はっきりと本当のことを知りたい。学生たちが便利(利便さ)であることを望む。

- ・全国最下位の高知県で新しきことは休み、バランスの取れた中心地区を大切に。

- ・厳しい財政状況にある今、このような100億円もの県費支出は認めるべきでない。また一方では、勤労学生の学ぶ夜間短大の灯は絶対に消すことをしてはならない。

- ・県民不在で事が進んでいるように感じる。国がしていることを高知県の中でも起こっているのではないか! 県(知事)は何をしたいのか見えてこない。

- ・一般市民目線で市議・県議も活動してほしい。

- ・薬学部新設は一度は出たものの中止されている。

ますが、四国には徳島だけにしかなく、ぜひ高知にも作ってもらいたいです。

・女子大の過去の伝統にこだわることなく、男子にも看護学部等勉学の機会を与え、高知での就労の場ができるようにすることが必要。池は通学に不便、永国寺キャンパスで改修することで経費もおさえ、県財政にも学生にもより良いのではないか。なぜ池移転か疑問。

・高知女子大学の今日までの功績は大きく、充分な役割を果たしてきた。県内外の評価も高い。今後とも女子大として内容を充実していくべきだと考える。

・厳しい財政事情のもとで、女子大に多額の資金を投入できるはずがないと思います。

・高知に県立の女子大は不要。なぜ選択肢にならないのか疑問。

・県立大学改革はこれまで進めてきた県の計画を一旦白紙に戻し、学生、教員、高校、県民の意見を聞いて高知県に真にふさわしい計画をつくる。それまでは現状のものを整備するのみにする。夜間短大は特色ある大学として存続すべき。

・教育は大切だが、県財政を考えると最優先事項ではない。

・100億円が多いといえばそうも思う。高知の今の建設業界をみていると、県内企業に限り女子大の事業に参加してもらいたい。その企業のため働く一つひとつの家庭が路頭に迷わないよう…。永国寺に社会科学系学部の新設はいけないう？街の活気が消えないように池に全部は移して欲しくない。

・⑤についてはプレハブでの立て替えが可能ならば。○学生の生活もある。働きながら勉学している学生は多い。学業と仕事ができる地域も考えるべき。○高知女子大も工科大システムにして半官半民で行い、企業のスポンサーをつける。

・女子大に看護学部が必要かどうかわからんぜよ。

・看護学部は優秀な人材を送り出している医療センターに近い方がよいと思うが、ほかの学部はあえて池地区へ大金を使って移転する必要はない。県予算はもっと大事なところへ使うべき。

・他県では教育に関する予算がどんどん減らさ

れていますが、高知県ではケチらないでください。

・次世代を担う大学生の教育は重要だと思います。また、若者が県内外から集まることは高知県の活性化にもなると思います。

・県立大学としての役割は大きいと思うので頑張ってください。

・未来を担う子どものためにも、大学教育は大切だと思います。大学教育らしいキャンパスが欲しいです。

・大学全入時代に、新たな学部をつくるのは学生さんを確保できるかどうかかわからず、見直すべきです。

・女子大充実の意味では池移転はやむを得ないものかも知れない。問題は跡地の活用である。マンション用地とか聞くが、これでは風致が乱れる可能性がある。土佐女子、追手前等の学校施設がある地域であるから、関連施設が望ましいように思う。

・土地の利用計画、例えば県（市）図書館、女子大の跡地利用、駅前の空き地移転利用など、さらに追手前小移転、帯屋町など活性化の総合的な計画を作成し、あわせ検討し、県市民に説明して欲しい。将来財政、土地利用、活性化などとあわせ検討の上、決めること。

・看護学部以外の学部まで池のような辺鄙なところに行くとバイトもできなくなる。コンパもできない。街に出るのも不便だし、公開講座に市民が参加できなくなる。

・永国寺で短大を残すべきです。高知県、市の実情にあわせて短大は必要です。若者が県外へ出るのは就職先が県内にないからです。女子大も看護学部以外、池へいく必要は全くありません。理由がない。

・永国寺キャンパスで四年間を過ごした私にとってはなくなることはとても残念ですが、狭い敷地ではどうしようもないと思います。長い歴史の中で築かれた魅力のある女子大学を今後も存続させるために、一つに統合した上で独自に歩んで欲しいです。

・これ以上の無駄遣いをしないで欲しいです。

・もっとほかにお金を使うべきところがあると思います。

・永国寺を文教の地として大事に残していって

欲しいです。

・これだけ財政難が叫ばれている昨今、県看をやめるならその分を池で補完するのみとするのが、四方丸く収まる方法では？

・県財政逼迫の折から新校舎の建設は絶対やめて欲しい。旧永国寺キャンパスを修繕して使って欲しい。

・教育は大事だが、ものには限度がある。

・大学改革について構想が不明の中で先に建物ありきの予算措置はおかしい。改革計画を大学内で議論すべきである。

・乏しい県財政の中で無理をして池に統合する必要なし。文教地区として永国寺を守るためにも永国寺キャンパスを残すべき。

・永国寺キャンパスの敷地は、高等教育のために一個人から寄贈されたものである。高知女子大学がもし全学部として池に移転したとしても高知女子大学の敷地として有効活用するべきである。

・なぜH21年に開学しないといけないのかよくわからない。22年、23年ではなぜいけないのか。急いで工事をすれば工科大のように雨漏りをするような建築物になりかねない。予算を縮小すれば中身の充実ははかれないと思います。

・歴史のある永国寺キャンパスを県の予算補充のために使用されることは控えていただきたい。本来的に文教地区の充実をはかって欲しい。

・永国寺地区（キャンパス）の耐震工事と施設拡充を望みます。

・永国寺キャンパスの存続、生活デザイン学科及び環境学科の存続。

・永国寺キャンパスを残して下さい。生活科学部を現在のかたちで残して下さい。

・県にお金がないにもかかわらず、（県看との統合とか）新学部の設置なんてしないで下さい。国公立で生活デザイン学科のような学科は希少なのですから、逆に県の強みにして他県の人を呼び込むべきです。

・現在ある学科を廃止して、池キャンパスに統合したとして高知市の中心商店街にとって何の得もなくムダにしか思えません。永国寺キャンパスがあって中心地に若者がいるからまだかろうじて今の活気が続いているのだと思います。

・既存の学部は残して欲しい。例えば生活デザイン学科をわざわざなくす必要はない。

・県のお金を100億円も使われん!!

・永国寺という地区に県立大学があるということも意味があると思います。

・永国寺キャンパスを残して欲しい。

・生活デザイン学科・環境理学科を残して欲しい。永国寺キャンパスを残して欲しい。

・永国寺キャンパスの耐震改修拡充整備はどう考えても100億余円以上かかるのではないか。

・総合大学でも学部がバラバラであるところはいっぱいある。無理に統合する必要はない。社会系学部をつくっても（学生の）人口定着になっても卒業すれば県外に出るのではないか。また少子化の地方の社会科学系学部に学生が集まるのか。

・身近な大学の姿を実現して欲しい。専門の知見を市民に活用してもらえる姿をめざして欲しい。女子大の先生が核になった運動も期待。

・社会科学系学部とは具体的にはどのような学部なのでしょうか。ぜひ法学部を設けて欲しいと思うのですが。法科大学院（なら共学もあり得る？）県内で法を学べる機会を与えて欲しいと思います。

・①現在の財政状況を考えること。②ゆくゆくは池キャンパスへの移転を考えるべきであろう。

・既存施設の耐震改修、維持費を考えたら移転をすれば人的管理費が節約できる・

・大学の機能から考えれば統合がいいと思いますが、社会科学系といっても具体的に何を考えているか不明。短大の存廃も未定。議会でもっともっと議論をすべきです。簡単に100億円も出せない。

・教育も大切でしょうが、現在最低の生活をしている高齢者の社会を見直すことが先決であり、また、経済社会の活況を求めたい。特に土木、建築業者の倒産、関連業種の閉鎖等がひどい！